

### 技術(機械)名: ロボットトラクター(畑作)

会社名 ヤンマーアグリジャパン(株)  
 担当部署 農機推進部  
 連絡先 06-6376-6264

#### 概要

畑作経営規模拡大におけるオペレーター不足、技術伝承の課題に応えるべく、GNSSを活用した高精度な農作業を行うと同時に大幅な省力化、省人化を図る。

作物: 小麦・豆・ビート他

対象作業: 耕起、施肥、播種他

#### 効果

標準装備のタブレットによりほ場や作業機の登録が行える。その情報をもとに作業経路が自動で作成され、オペレータのタッチ操作のみで設定された経路を自動で作業することが可能。長時間作業による疲労を大幅に軽減。

衛星(GNSS)と基地局からの補正情報で、2~3cm単位の高精度測位が可能。また、自治体設置の基地局だけでなく、オプションによるヤンマーの基地局では、半径1kmの範囲で位置情報取得をカバー。勘と経験に頼ることなく誰でも精度の高い作業が可能。

無人自動運転+随伴トラクターによる2台協調作業が可能で大幅な効率化を図ることができる。

#### 写真、図表等

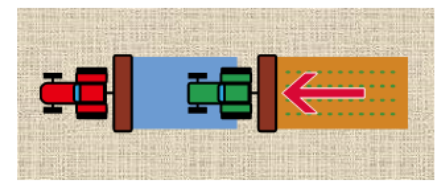
##### ロボットトラクタの利点

- (1) 複数台での同時作業による効率化
- (2) 碎土+施肥・播種 (複数の作業を同時に)



オペレータ1人で、倍幅の作業が可能に

- 100馬力×2台で、200馬力トラクタに匹敵。
- ほ場地盤の傷みが少ない。
- ロボットトラクタの跡を追えば、正確に直進可能。



2つの作業を1人で行う=複合作業が可能

- 作業効率率が2倍。
- 連続する2つの作業が一気にできるため、天候の影響に左右されにくい。

誰でも、正確に、効率良く作業が行える。

#### 社内ロータリー作業テスト結果 (15ha当たり)

- (1) 単独 (1台) での作業
- (2) ロボットトラクタと伴走車 (2台) での作業

